

WEEKLY SIGNAL

2020年9月4日(金) 1540号

上田八木証券株式会社

来週の市場とレート予想

| | 9/7(月) | 9/8(火) | 9/9(水) | 9/10(木) | 9/11(金) |
|--------|--|--|-------------------|------------------------------|--------------|
| 無担保O/N | | | △ 0.087% ~ 0.001% | | |
| 銀行券 | + 900 | + 1,000 | トシ | トシ | △ 1,000 |
| 財政他 | △ 500 | + 1,000 | △ 22,000 | △ 8,000 | △ 10,000 |
| 資金需給 | + 400 | + 2,000 | △ 22,000 | △ 8,000 | △ 11,000 |
| 主な要因 | 国庫短期証券 発行・償還(3M) | | 国債発行(5年) | 国庫短期証券発行・償還(6M) | 国債発行(20年) |
| オペ期日 | 共通担保資金供給(△) △ 2,800 CP等買入 △ 200 国債補充供給 + 100 | | | | |
| オペスタート | 国債買入 + 5,300 CP等買入 + 6,000 | | | | |
| (日本) | 景気動向指数(7月) | 毎月勤労統計(7月) 家計支出(前年比)(7月) 国際収支・経常収支(7月) 銀行貸出動向(8月) | | コア機械受注(前月比)(7月) | 国内企業物価指数(8月) |
| (海外) | | ユーロ圏GDP(2Q) | | ECB政策金利発表。総裁記者会見 米PPI(8月) | 米CPI(8月) |

【インターバンク市場】

| 無担保ターム物 | 予想レンジ |
|---------|----------------|
| SPOT 1M | △0.030 ~ 0.030 |
| SPOT 2M | 0.000 ~ 0.040 |
| SPOT 3M | 0.000 ~ 0.070 |
| SPOT 6M | 0.000 ~ 0.130 |

<インターバンク>

日銀当座預金は週初、464兆2,200億円から始まった。2日には税保険揚げを要因に459兆円台まで減少した。その後も横這いで推移し、週末となる4日には459兆1,200億円となった。
無担保コールON物の加重平均金利は週初月末初めの取引は△0.057%から始まり、その後も地銀業態を中心に調達意欲は堅調で△0.050%台で推移し越週した。
ターム物は1~2W物を中心に、主に△0.045%~△0.03%での取引がみられた。
来週は国内では、7月の景気動向指数(7日)、7月の国際収支・経常収支(8日)
海外では、2Qユーロ圏GDP(8日)、ECB政策金利発表、総裁記者会見(10日)などが予定されている。

【オープン市場】

| | |
|------------|-----------------|
| CP3M(a-1+) | △0.02 ~ 0.000 |
| TDB 3M | △0.140 ~ △0.095 |
| 現先(on/1w) | △0.05 ~ 0.00 |

<CP>

今週の入札発行総額は約 1,300億円で、週間償還額(約900億円)を上回った。発行市場は、償還が少なく、週を通して案件も少なく閑散なマーケットであった。
先週末の市場残高は26兆547億円であったが、3日時点では25兆7,729億円と、減少している。3日に、CP等買入オペが予定通り6,000億円でオファーされた。結果は、按分レート△0.042%(前回△0.028%)・平均落札レート△0.018%(前回△0.023%)と案分レートが低下し、平均落札レートは上昇した。
来週の週間償還額は、約6,200億円となっている。5・10日発行が予定されるため、取引は活況が見込まれる。発行レートは、浅いマイナスから0%前後の出合いを予想するが、発行量の少ない銘柄ではやや強いマイナスレートでの発行が見込まれる。

<TDB>

4日の3M934回債(12/7償還)の入札は、最高落札利回り△0.1162%(前回債△0.0862%)、平均落札利回り△0.1239%(同△0.0898%)となり、入札後△0.137%の出合が見られた。そのほかセカンダリーでは3M933回債(11/30償還)が△0.13%~△0.14%のレンジ、6M932回債(2/25償還)が△0.118%~△0.14%のレンジ、1Y930回債(8/20償還)が△0.14%~△0.143%で取引された

<レボ>

足許GC取引は週初△0.085%~△0.095%から始まり、以降レートは低下。短期買入オペがオファーされた2日受け渡しでは△0.09%~△0.10%近辺で推移した。その後、短期3Mの発行日となる7日受渡しでは、一時△0.1%台前半までの取引も見られた。SC取引では、10年359回債が発行日前にかけて△0.2%台後半での取引が見られた。その他2年401~416回債、5年137~144回債、10年336~359回債、20年164~173回債、30年59~67回債、40年9~13回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。